

第2部 担当別事業概要

I 広域調整担当

本県の保健・医療を取り巻く環境は、県民ニーズが多様化する中で、少子高齢化の急速な進展、生活習慣病の増加など大きく変化しています。特に昨今は、医療従事者不足等による地域医療体制の脆弱化、新興感染症等の大規模な健康危機管理事案の発生、食に関する問題の複雑化など、地域保健上の課題の専門・高度化、広域化が進んでいます。このような中で、保健所のさらなる専門性の向上を図るとともに、管轄区域を越えた保健所相互の連携強化が必要となっています。

このため平成22年度に、川口、春日部、狭山及び熊谷の4保健所が拠点保健所として位置づけられ、広域調整担当が設置されました。平成30年4月に中核市となった川口市に保健所が開設されましたが、南部保健所広域調整担当の担当区域は、管内の蕨市、戸田市、川口市保健所管内の川口市及び朝霞保健所管内6市1町（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町）です。各拠点保健所の広域調整担当は連携して、広域的な健康危機管理体制の構築、医事における立入検査及び指導業務に対する専門的かつ技術的な支援、各保健所の管轄区域をまたがる広域的な連絡調整などを担っています。

1 広域的な健康危機管理機能

(1) 南部地域保健医療圏・地域災害保健医療調整会議の開催

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(2) 健康危機管理訓練・研修の実施

日 時	令和3年11月26日（金） 13:30～16:00
場 所	埼玉県産業技術総合センター 4A・4B・4C会議室
参加者	44名 南部・川口市保健所管内の病院、南部保健所・朝霞保健所・川口市保健所
内 容	「現場（病棟）で考えるBCP」 各病院から、看護師・薬剤師・管理栄養師の3名を1チームとして参加いただき、様々な状況への対応方法を話し合いながら、災害時における対応力向上を図るための机上訓練を実施した。 講師 川口市立医療センター 副院長 坂田 一美 氏 元副院長 山本 雅博 氏

(3) 蕨・戸田地区保健医療協議会への参加（書面評決）

地域住民の健康の保持増進のために必要な諸事業の実施と調整を図ることを目的として、戸田・蕨保健所が事務局になり、昭和48年度に発足しました。事務局は平成20年度から蕨市に移管され、平成30年度から蕨市と戸田市が2年交代で担っています。

会 員	蕨戸田市医師会、蕨戸田歯科医師会、獣医師会戸田蕨分会、蕨市地域薬剤師会、戸田市薬剤師会、蕨市及び戸田市の保健衛生・環境・安全・教育・消防関係職員、南部保健所職員
定 例 総 会	令和3年6月30日（水） 新型コロナウイルス感染症の影響により書面での評決とした。

(4) 所内職員対象の南部保健所・朝霞保健所合同通信訓練

日 時	令和3年12月22日（水） 9:00～10:30
参加者	所内職員（新規採用職員ほか3名）
内 容	① 防災行政無線、衛星携帯電話の通信訓練 相手先：朝霞保健所 ② 携帯発動機使用訓練

2 保健所業務の専門性強化

(1) 医療機関への立入検査の支援

- ア 南部保健所管内（書面審査） 9病院
新型コロナウイルス感染症の影響により実地検査は行わず、書面審査を実施しました。

(2) 保健所別研修の実施

- ア 在宅医療研修（多職種連携の会）

日 時	令和4年1月27日（木） 14:00～16:00
場 所	川口駅前市民ホール「フレンディア」 講演及びパネルディスカッションをフレンディアで行い、 ZOOM配信を実施した。
参加者	94名 川口市・蕨市・戸田市内の医師、薬剤師、看護師、介護関係職員等
内 容	1 基調講演 「ACPの理解とエンディングノートを活用した多職種連携のあり方」 講師 医療法人社団弘恵会 杉浦医院院長 杉浦 敏之 氏 2 パネルディスカッション 「意思決定の支援に多職種がどう関わるのか」 座長 仁愛医院院長 竹中 健智 氏 オブザーバー 講師 杉浦 敏之 氏 パネリスト 訪問歯科医、薬剤師、訪問看護師、ケアマネージャー、 ヘルパー、地域包括支援センター職員